

# 自己点検・評価シート

平成25年度 第9次鳥取市総合計画

整理No.	2-(1)-②	所属名	教育委員会事務局 中央図書館
事務事業名	地域社会教育活動総合事業		

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる
	施策	2101	生涯学習の推進

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態にするために)	本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るため。また、地域文化の発展に寄与するため。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、「お話し会」等の事業の実施をするとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。また、地元大学等と連携を図り、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。	お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。 中央図書館開館30周年記念事業を実施し利用促進のためのPRに努める。	お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。 高齢者向けの講座「音読教室」を新たに実施するとともに中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。 高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。 高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	
	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>視聴覚支援資料整備</li> <li>ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>視聴覚支援資料整備</li> <li>ボランティアの受入</li> <li>30周年記念式典及び記念講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>その他講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>ボランティアの受入などを通じて読書活動の推進を図った</li> </ul>			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	21,140	22,150	21,199	895		
	直接経費 A	1,013	1,595	839	895		
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
一般財源	1,013	1,595	877	895			
人件費 B	20,127	20,555	20,360				
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00			
	嘱託職員	3.00	3.00	3.00			
	臨時職員	0.00	0.00	0.00			

## 4. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	1 事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各図書館で毎週定期的に「おはなし会」を実施</li> <li>(2) 絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座を実施</li> <li>(3) 保健センターが行なうブックスタート事業に協力</li> <li>(4) 鳥取大学等と連携しての一般向け講座の実施</li> <li>(5) とっとり市報への移動図書館車巡回日程の折込(年1回)</li> <li>(6) 気高図書館開館10周年記念事業 など実施</li> </ul>
	2 事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) おはなし会等 135回開催 延べ2,626人参加</li> <li>(2) 読み聞かせ等ボランティア養成講座 17回開催 延べ497人参加</li> <li>(3) その他音読教室、ブックスタート支援など 21回開催 延べ609人参加</li> <li>(4) 用瀬図書館での事業 56回開催 延べ510人参加</li> <li>(5) 気高図書館での事業 50回開催 延べ500人参加</li> <li>(6) 気高図書館開館10周年記念事業 1回 124人参加</li> </ul>

## 5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・D \* 目的に対する成果がわかりやすい指標に変更しました】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	おはなし会、各種講座の開催回数	回	目標	190	195				
				実績	279	280				
		(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等開催回数								
	2	読み聞かせボランティア講座等受入人数	人	目標	430	440				
				実績	409	376				
		(指標の説明) 読み聞かせボランティア受入人数								
	3	おはなし会、各種講座への参加者数	人	目標			4,500	4,550	4,600	
				実績			4,866			
		(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数								
	4	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標			50	69	70	
				実績			68			
		(指標の説明) 受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率(実施予定含む)								

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	3	おはなし会、各種講座の開催回数	%			108%		
	4	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%			136%		

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもの読書活動の推進を図るとともに、幼児から高齢者まで知識や教養の修得、地域文化の発展にも寄与している。市民の社会参画や自己実現を図る生涯学習施設として大いに利用されている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実績として、目標としていた参加人数を上回っているとともに、事業後のアンケートでも満足度が高いため。また、読み聞かせボランティア受講者が実践に結びついているため。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	現代的な課題も考慮しながら各種講座、講演会などを開催しており、ボランティアによる「おはなし会」の実施や、地域で活躍する講師を招聘した講座を開催した。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	中央図書館をはじめ、用瀬、気高図書館においても講座、講演会、おはなし会等を実施している。子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を展開している。広報についても、とっとり市報をはじめケーブルテレビなども活用し広く取り組んでいる。

## 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止	<input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	豊かな市民生活を送るためには、さまざまな知識や情報を容易に入手し、課題を自ら判断し、生涯にわたって学んでいくことが必要である。図書館は、市民のニーズをとらえながら、様々なテーマで学習の機会を提供していく必要がある。			
今後の課題・方向性	読み聞かせなど基本的な読書活動を推進する事業を実施するほか、今日的な課題も取り上げながら、地域や個人の課題解決に向けた講座や情報提供などにも取り組んでいく。 また、図書館だけではなく家庭・地域とさらに連携し、市民に豊かな読書環境を提供する必要がある。			

## 9. 学識経験者の所見

## 【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	現代社会では在学期間だけでなく社会にでてからも知識や情報の収集活動を続けなければ、社会人として活動できない。その点で図書館には市民の知識情報収集活動をきちんとサポートする役割がある。デジタル、アナログは別にして文書を読み、知識情報を得て、それを行動に生かすという技術の習得も重要になってくる。その技術の基本にあるのは文書を読み、理解する力である。その意味で多くの子どもに読書習慣を持たせるために読み聞かせなど活動は地道ではあるが極めて重要であり、今後は一部の子どもだけに留まらず広い範囲の子どもに広げていくことを期待したい。
--------	--

## 【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	図書館が実施した事業が市民に定着し、市民による自発的な取り組みの拡がりが見られる。また、事業の評価においてもよりアウトカムに近い視点から指標の見直しが行われ、事業の点検と改善に寄与している。
--------	---